

第2章 戦争遺跡等の現状

第2章 戦争遺跡等の現状

1 近年の社会的動向

(1)文化財の種類、指定・選定・登録

ア 国

文化財保護法では、文化財を有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物、伝統的建造物群の5つに定義し、これらの文化財のうち、重要なものを重要文化財、史跡名勝天然記念物などとして国が指定選定し、重点的な保護の対象としている。このほか、近代を中心にした身近な文化財建造物を登録有形文化財に登録し、保護に努めている。国が指定などした文化財については、その種類に応じて、現状変更などに一定の制限を課す一方、修理などに対する国庫補助を行うなど、保存及び活用のため必要な各種の措置を講じている。

イ 地方

平成10年5月1日現在、全ての都道府県及び全国3,255市町村のうち3,148市町村(96.7%)において文化財保護条例が制定されている。条例に基づいて指定された文化財は、平成10年5月1日現在、都道府県で1万8,932件、市町村で7万9,161件にのぼっており、その数が年々増加している。

都道府県または市町村においては、これらの指定などが行われた文化財について、文化財保護条例に基づくなどして、所有者などによる管理、修理、公開などの事業に対して補助を行うなど、保存及び活用のため必要な各種の措置を講じている。

ウ 遺跡の保護

文化財保護法では遺跡は「記念物」に定義し、重要なものを「史跡」として指定している。平成13年現在、国・地方公共団体が指定している史跡は、国指定史跡1,461件、都道府県指定史跡2,584件、市区町村指定史跡1万2,968件、全体で約1万7,000件となっている。

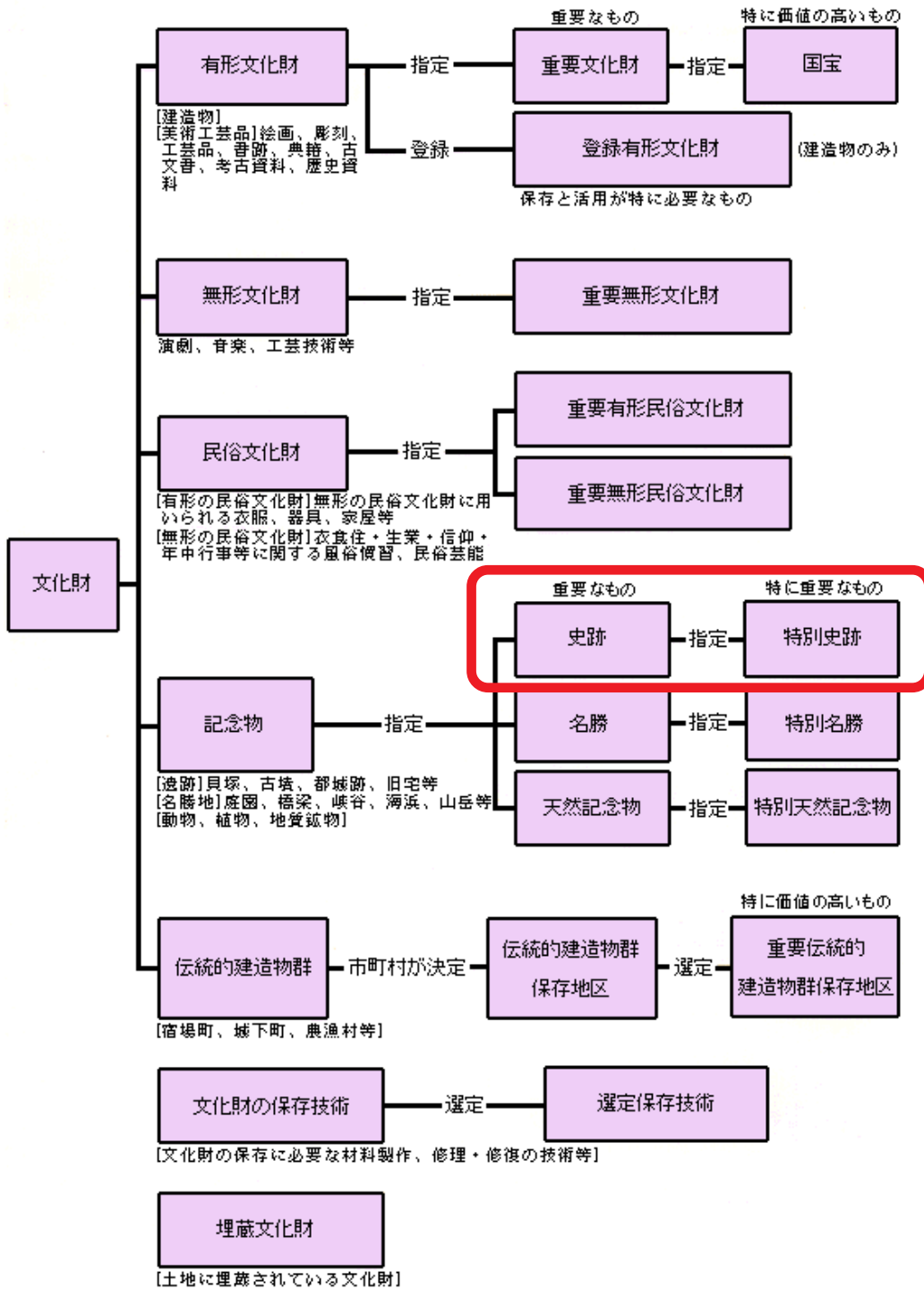
ただし、全国には現在約45万か所の遺跡が確認されており、国・地方公共団体に史跡として指定されている遺跡は約3.8%に留まっている。史跡に指定されない遺跡は、土木工事などが及ぶ場合、発掘調査による記録保存の措置がとられるため、消滅するものも少なくない。

図表2-1 国・地方公共団体の指定史跡(平成13年)

区 分	件 数
国指定史跡	1,461
都道府県指定史跡	2,584
市区町村指定史跡	12,968
合 計	17,013

資料：文化庁資料

図表 2-2 文化財の体系



資料：文化庁

(2)近代遺産の保存・活用

ア 近代遺産

文化庁が設置した「近代の文化遺産の保存・活用に関する調査研究協力者会議」は、平成6年9月から、近年における社会経済情勢の変化に伴い大きな課題となっている近代の文化遺産（記念物、建造物、美術・歴史資料、生活文化・技術の4分野）の保存と活用の在り方について調査研究を行ってきた。

報告書によると、近代の文化遺産は、記念物、建造物、美術・歴史資料及び生活文化・技術のいずれの分野をとっても、開発の進展、技術革新や情報化の進展、生活様式の変化などにより、消滅や散逸などの危機にさらされているものが多く、他方、未だ必ずしも文化財としての認識や評価が定着していないため、保護措置が十分には講じられていないという状況にある。これらは、一旦失われてしまうと回復ができないものであるため、価値があると認められるものについては適切に保存し、後世に継承していくことが課題となっている。

平成12年現在の国の時代別指定件数をみると、史跡指定された遺跡のうち、近代遺跡の指定件数は16件に留まっており、全体の1.1%に留まっている。

図表2-3 時代別にみた国指定の史跡数（平成12年）

区 分	原始	古代	中世	近世	近代	計
貝塚・古墳等	580	8	1			589
都城跡等		70	129	79	3	281
社寺跡等		185	40	10		235
学校その他教育・学術・文化に関する遺跡		1	1	20	2	24
医療施設その他社会・生活に関する遺跡			3	3		6
交通施設その他経済・生産活動に関する遺跡	9	33	20	70	9	141
墳墓・碑等		10	9	49	1	69
旧宅・園地等		6	20	57		83
外国及び外国人に関する遺跡				6	1	7
合 計	589	313	223	294	16	1,435

資料：文化庁資料

イ 近代文化遺産の保護のあり方

「近代の文化遺産の保存・活用に関する調査研究協力者会議」報告書では、近代の文化遺産の保護のあり方として、指定制度による保護、登録制度など多様な手法による保護、地方公共団体における保護の3つを示している。

指定制度による保護

文化財の指定基準の見直しを行い、重要な近代の文化遺産については、史跡等として指定を促進する。

登録制度など多様な手法による保護

多様かつ大量の近代の建造物等を幅広く後世に継承していくには、強い規制と手厚い保護

措置を講ずる指定制度に加えて、届出制と指導、助言、勧告を基本とするゆるやかな保護措置を講じる登録制度により、文化財の保護手法の多様化を図る。

地方公共団体における保護

各地方公共団体において、国における以上のような施策等も参考にしつつ、近代の文化遺産について指定等による保護の措置をとるよう検討する。

ウ 近代の文化遺産の保護推進のための重点課題

「近代の文化遺産の保存・活用に関する調査研究協力者会議」報告書では、近代の文化遺産の保護推進のための重要課題として、次の7点をあげている。

全国的調査の実施

近代の文化遺産の所在状況等に関する体系的な調査の推進と把握への努力。

情報の蓄積・整理の促進

所在、形状や保存状況等の情報を蓄積していくための文化財情報システムの構築及び全国ネットワーク化の一層の促進。

公開の促進

適切な保存を図るため、記念物や建造物自体の使用など、公開についての柔軟な対応。

保存方法等の研究開発の推進

多様な文化遺産の修理技術等の保存方法の研究開発の推進、国立文化財研究所（（現）独立行政法人文化財研究所）等の機能の充実強化。

人材の養成研修

専門的人材の養成・確保、地方公共団体の文化財関係職員、博物館・資料館等の職員を対象とした研修の充実。

関係省庁・機関・団体等の連携協力の強化

関係省庁、大学や博物館等の機関、企業、団体等との連携協力を強化。

国民の理解協力の増進

文化財の保護を推進するためには、国民の理解と協力の涵養（青少年に対しては、学校教育及び社会教育を通じて文化財に親しむ機会の拡充等）

エ 千葉県における取組

千葉県では、平成7年から10年まで「千葉県産業・交通遺跡実態調査」を実施している。同調査は、近代化に伴って構築された様々な構造物の保存・活用を図るための基礎資料となるよう、幕末から第2次世界大戦終了時までには構築された、県内の産業及び交通、土木に係わる建造物などについて所在、目的などについての把握を行ったものである。同調査で把握された物件は、産業関係遺跡83、交通関係遺跡154、その他30、合計267となっている。

図表2-4 「千葉県産業・交通遺跡実態調査」で把握された千葉県内の近代遺跡

区分	遺跡数	区分	遺跡数
産業関係	83	鉄道	59
農業	44	駅舎	18
堰堤	24	軌道	4
記念碑	8	橋梁	24
堤防	1	機関車	3
排水施設	3	道路橋	3
揚水施設	2	隋道	7
用水路	1	海事	6
用水	4	船入場	1
溜池	1	灯台	4
漁業	2	突堤	1
水産加工場	1	土木関係	25
倉庫	1	河川	18
牧畜業	3	運河	1
厩舎	1	堰	1
記念碑	1	橋	1
牧場	1	護岸	1
鉱業	1	水運	1
天然瓦斯	1	堤防	7
醸造業	17	樋	1
工場	2	樋門	3
事務所	4	閘門	1
醸造所	10	その他	1
倉庫	1	上下水道	7
食品業	4	給水塔	1
工場	2	源泉	1
事務所	1	水源地	1
その他	1	貯水槽	1
商業	9	配水池	1
銀行	1	配水塔	1
商店	5	堰堤	1
商店・倉庫	1	その他	30
倉庫	1	軍施設	23
長屋門	1	公園	2
その他	2	水準原標	1
交通関係	154	水塚	1
道路	89	防空壕	1
記念碑	2	無線施設	1
供養塔	1	郵便局	1
常夜塔	1	合計	267
人道橋	3		
道標	47		
道路	1		
道路橋	24		
隋道	10		

資料：千葉県「千葉県産業・交通遺跡実態調査」(平成10年12月)を基に作成

(3) 戦争遺跡の保存・活用

ア 指定基準

国の「史跡名勝天然記念物指定基準」(平成7年3月6日文部省告示第24号(第2次改正))における史跡に係る基準は以下のとおりとなっている。

史跡指定対象の時期は当面第二次大戦終結頃まで
 都城跡、国郡庁跡、城跡、官公庁、戦跡その他政治に関する遺跡で、歴史的・学術的に
 価値があるもの

イ 分類・区分

近代文化遺産の分類として、文化庁が設置した「近代遺跡の調査等に関する検討会」で示した「近代遺跡調査実施要領」では、対象遺跡の時期を幕末・開国期から第二次大戦終結頃までとし、調査対象遺跡の分野区分を経済・社会・政治・文化・その他の11分野とした。このうち、戦争遺跡は政治分野のほか、重工業、交通・運輸・通信業、社会、文化分野などにもみられる。

図表 2-5 近代文化遺産の分類

区分	摘要
鉱山	鉄山 銅山 金銀山 その他各種鉱山(選鉱場、精錬所、軌道施設等の関連施設を含む)
エネルギー産業 (鉱山を除く)	炭鉱 油田 発電所 その他
重工業	製鉄 冶金 機械 造船 自動車 石油コンビナート その他
軽工業	紡績 製糸 その他繊維産業 食品 化学 窯業 セメント 地場産業 その他
交通・運輸・通信業	鉄道 道路 橋梁 燧道 倉庫 灯台 運河 河川・堤防 飛行場 郵便 電信電話 その他
商業・金融業	会所 商館 商店・百貨店 市場 会社 金融機関(銀行証券取引所等) その他
農林水産業	農業(灌漑施設、干拓施設、農業試験場等) 牧畜 開拓林業(貯木場、製材所、森林軌道等) 漁業(漁港、番屋、養殖施設、水産加工施設等) 養蚕業(蚕室、蚕種製造所、繭集荷場等) 製塩業 その他
社会	上下水道施設 都市開発 集合住宅 公衆浴場 公園 保健医療施設(病院、診療所、療養所等) 社会福祉施設(孤児院、養老院、保健所授産施設等) 娯楽・観光施設(映画館、芝居小屋、遊園地等) 災害 公害・労働争議等社会運動に関する遺跡 その他
政治	行政(郡役所、地方自治体の庁舎、官庁等) 立法(議事堂等) 司法(裁判所、刑務所等) 政党・政治結社等政治的活動および政治的事件に関する遺跡 外交(税関、領事館等) 軍事に関する遺跡 その他
文化	学校研究施設(研究所、試験場、実験場、天文台等) 文化施設(文庫、図書館、美術館、博物館、音楽堂、劇場等) 出版・報道に関する施設 競技場等のスポーツ施設 その他
その他	～ に属しない分野

資料：十菱駿武、菊池実編『しらべる戦争遺跡の事典』(平成14年)

ウ 指定遺跡

わが国では、沖縄県南風原町の南風原陸軍病院壕が日本初の指定史跡（町指定）になったことがきっかけになり、戦争遺跡のうち指定史跡となったものは、現在、国指定8件、県指定4件、市指定20件、町指定18件、村指定2件となっている。また、国の登録有形文化財は18件となっている。指定史跡のうち、千葉県では、安房郡富浦町大房岬要塞群の12件が一括して町指定史跡となっている。

図表2-6 戦争遺跡のうち指定史跡となったもの（平成13年現在）

区分	遺跡名
国指定 8件	札幌市琴似屯田兵村兵屋 旭川市陸軍第七師団旭川街偕行社（旭川市彫刻美術館・重要文化財） 青森県弘前市陸軍第八師団偕行社（弘前女子厚生学院記念館・重文） 東京都千代田区近衛師団司令部庁舎（東京国立近代美術館工芸館・重要文化財） 金沢市陸軍第九師団兵器庫（石川県立歴史博物館・重要文化財） 広島市原爆ドーム（広島県物産陳列館、世界文化遺産登録） 広島県呉市海軍呉鎮守府司令長官官舎（入船山記念館） 香川県善通寺市陸軍第一師団偕行社（善通寺市立郷土館）
県指定 4件	北海道江別市野幌屯田兵第二中隊本部一屯田資料館一 美唄市美唄屯田兵兵屋 根室市和田屯田兵村大隊本部被服庫 厚岸町太田屯田兵兵屋
市指定 20件	北海道札幌市新琴似屯田兵中隊本部 江別市江別屯田大隊本部火薬庫 旭川市永山屯田兵屋（旭川市郷土博物館） 室蘭市輪西屯田兵火薬庫 士別市士別屯田兵屋 北見市野付牛屯田第四大隊第一中隊本部被服糧秣庫 北海道稚内市大岬海軍望楼 青森県青森市幸畑陸軍墓地 歩兵第五連隊八甲田山遭難記念碑（市有形文化財） 宮城県仙台市陸軍第二師団歩兵第四連隊兵舎（仙台市歴史民俗資料館・市有形文化財） 群馬県高崎市高崎陸軍元ロシア人兵士墓地 東京都東大和市日立航空機立川工場変電所 京都府舞鶴市舞鶴海軍兵器廠魚形水雷庫（舞鶴市赤煉瓦博物館） 大阪府枚方市陸軍香里製造所煙突（市史跡） 広島県呉市海軍工廠塔時計（市有形文化財） 広島市広島陸軍糧秣支廠缶詰工場（広島市郷土資料館・市重要有形文化財） 大分県宇佐市城井一号掩体壕 長崎県島原市からゆき塔女のドーム（アジアの慰安婦供養塔・市文化財） 鹿児島県川内市天狗鼻海軍望楼台 沖縄県沖縄市美里国民学校奉安殿、忠魂碑
町指定 18件	北海道釧路町釧路屯田兵兵屋 北海道美瑛町陸軍演習場廠舎門柱 北海道上富良野町東山尋常高等小学校御真影奉置所 ～ 千葉県富浦町大房岬要塞群（弾薬庫二棟、砲台跡、観測所跡、幕末砲台跡二基、掩灯所、探照灯格納庫、発電所、火薬庫、射的場、魚雷艇発信所）12件 三重県紀和町外人墓地（紀州鉱山労働英国人捕虜墓地） 沖縄県南風原町南風原陸軍病院壕
村指定 2件	群馬県東村防空監視哨跡 沖縄県伊江村公益質屋
国登録有形 文化財 18件	札幌市西岡水源地取水塔（陸軍水道施設） 旭川市陸軍第七師団騎兵第七連隊覆馬場（あさでん春光整備工場） 宇都宮市旧陸軍第六六歩兵連隊倉庫（宇都宮中央女子高校倉庫） 神奈川県横須賀市海軍軍港水道貯水池（市水道局走水水源地煉瓦造貯水池） 横須賀市横須賀軍港水道浄水池（市水道局走水水源地 RC 造浄水池） 金沢市陸軍第九師団司令部庁舎、 陸軍金沢偕行社（石川県庁舎石引分室） 豊橋市陸軍第一五師団司令部庁舎（愛知大学記念館） 京都市外務省東方文化研究所（京都大学人文科学研究所付属漢字情報研究センター） 京都市近鉄澁川橋梁（陸軍演習用東洋一の鉄橋） 舞鶴市赤煉瓦ホフマン窯（舞鶴軍事建物用煉瓦生産遺構） 舞鶴市海軍鎮守府水源地堰堤 浜田市歩兵第二一連隊雨覆練兵場（浜田高校体育館） 歩兵第二一連隊雨覆練兵場（第一中学校屋内運動場） 呉市宮原浄水場低区配水池（軍用水道）

資料：十菱駿武、菊池実編『しらべる戦争遺跡の事典』（平成14年）より作成

2 館山市における歴史資源の現状

(1) 指定文化財の状況

平成14年現在、本市の指定文化財は87件となっている。指定別内訳は、国指定3件、県指定23件、市指定61件となっており、市指定の文化財が多い。

文化財を種類別にみると、有形文化財45物件、無形文化財2物件、民俗文化財2物件、記念物22物件となっている。

また、記念物のうち、史跡に指定されているのは11物件（安房神社洞窟遺跡、鉾切洞穴、安房国分寺跡、館山城跡、雄誉上人墓、大寺山岩窟墓及び出土品など、三義民刑場跡及び墓、大神宮義民七人様の供養碑、やぐら、孝子塚）である。

図表2-7 市内指定文化財の状況（平成14年現在）

種 類	国指定・選定等		県指定	市指定	合計	
	国宝	重要文化財				
有形文化財	建 造 物			6	4	10
	絵 画			1	2	3
	彫 刻		1	2	10	13
	工 芸 品		1	2	4	7
	書 跡				6	6
	典 籍					0
	古 文 書					0
	考古資料				6	6
	歴史資料				1	1
無 形 文 化 財				2		2
民俗文化財	有形民俗文化財		1	3	3	7
	無形民俗文化財			1	9	10
記念物	史 跡			3	8	11
	名 勝					0
	天然記念物			3	8	11
伝統的建造物保存地区						0
保 存 技 術						0
合 計		0	3	23	61	87
環 境 保 存 地 区						0
建造物登録文化財						0
記録選択	無形の文化財					0
	無形の民俗文化財		1			1

資料：館山市教育委員会資料

図表 2-8 市内指定文化財の一覧（平成14年現在）

番号	種類	名 称	所在地等	所有者(伝承者)	指定年月日	員数(面積)
重要文化財						
1	有工	梵鐘(弘安九年在銘)	出野尾859	小網寺	1961. 6.30	1口
2	有彫	銅造千手観音立像	那古1125	那古寺	1984. 6. 6	1?
3	民有	房総半島の漁撈用具	県立安房博物館	千葉県	1987. 3. 3	2,144点
千葉県指定文化財						
1	民有	神余の弘法井戸	神余巴川	神余区	議決1955.12.15 告示1975.11.14	
2	民無	洲崎踊り	洲崎神社	洲崎神社氏子	1961. 6. 9	
3	有建	那古寺多宝塔 附木造宝塔	那古1125	那古寺	1965. 4.27	各1基
4	有工	小網寺鑄銅密教法具	出野尾859	小網寺	1966. 5.20	21点
5	記史	安房神社洞窟遺跡	大神宮589	安房神社	1967. 3. 7	100㎡
6	記天	沼サンゴ層	沼521-3	館山市	1967. 3. 7	99㎡
7	記史	鉦切洞穴	浜田376	船越鉦切神社	1967.12.22	250㎡
8	有工	繻字法華経普門品	那古1125	那古寺	1969. 1.10	1巻
9	有建	大巖院四面石塔 附石製水向	大網398	大巖寺	1969. 4.18	1基・4個
10	無	唐棧織	長須賀48-2	斎藤頼・光司	1970. 1.30	
11	記天	洲崎神社自然林	洲崎1697他	洲崎神社	1972. 9.29	16,406㎡
12	記天	布良の海食洞と鍾乳石	布良443-1	葵開発工事(株)	1978. 2.28	304㎡
13	有建	手力雄神社本殿	大井1129	手力雄神社	1980. 2.22	1棟
14	無	綴錦織	八幡23	和田秋野	1982. 4. 6	
15	有彫	木造阿弥陀如来坐像	那古1125	那古寺	1984. 2.24	1?
16	有彫	木造如来形坐像	大神宮704	千祥寺	1986. 2.28	1?
17	有建	石井家住宅	畑1117	石井喜代治	1990. 3.16	1棟
18	記史	安房国分寺跡	国分959-2	国分寺	1992. 2.28	2,109.08㎡
19	有建	那古寺観音堂 附厨子	那古1125	那古寺	1994. 3.22	1棟・1基
20	有絵	絹本着色僧形八幡神像	那古1125	那古寺	1994. 3.22	1幅
21	有建	千葉県立安房南高等学校旧第一校舎	北条611	千葉県	1995. 3.14	1棟
22	有民	房総半島の万祝及び紺屋製作用具	県立安房博物館	千葉県教育委員会	2000.2.25	一括
館山市指定文化財						
1	有考	船越鉦切神社奉納独木舟	浜田376	船越鉦切神社	1957.12.16	1隻
2	記史	安房国分寺跡	国分958-1他	国分寺	1957.12.16	
3	記天	オオウナギ	佐野川一帯		1958. 7.16	
4	記史	館山城跡	館山362-3他	国・館山市	1960. 6.16	
5	有書	検地帳	館山市立博物館	館山市・竹原区	1961.10.21	46冊
6	記天	沼のびやくしん	沼443	十二天神社	1961.10.21	1樹
7	民有	狛犬・燈箱・木椀	大神宮589	安房神社	1962. 7.23	1対・1口・1口
8	有彫	那古寺木造千手観音立像	那古672	那古寺	1963.12.17	1?
9	記天	沼サンゴ層	南条518-2	(南条)八幡神社	1965. 4.21	99㎡
10	有考	鶴谷八幡神社棟札	八幡76	鶴谷八幡神社	1965. 4.21	3枚
11	有建	鶴谷八幡神社本殿	八幡76	鶴谷八幡神社	1967. 2.21	1棟
12	有建	洲崎神社本殿	洲崎1344(1697)	洲崎神社	1967. 2.21	1棟
13	有書	十二因縁論	大網398	大巖院	1968. 12.23	1巻
14	記史	雄誉上人墓	大網398	大巖院	1968. 12.23	1基
15	有絵	慈恩大師画像	大網398	大巖院	1968. 12.23	1巻
16	有書	絹本名号本尊	大網398	大巖院	1968. 12.23	1巻
17	有考	元應板碑	大網398	大巖院	1968. 12.23	1基
18	有彫	木造阿弥陀如来坐像	大網398	大巖院	1968. 12.23	1?
19	有彫	慶長十三年紀年肖像彫刻二?	大網398	大巖院	1968. 12.23	2?
20	有書	洲宮神社縁起	洲宮921	洲宮神社	1969. 2.21	1巻

21	有考	祭祀用土製模造品	洲宮921	洲宮神社	1969. 2.21	7箇
22	有彫	木造天部像	洲宮921	洲宮神社	1969. 2.21	1?
23	民無	洲宮神社御田植神事	洲宮921	洲宮神社氏子	1969. 2.21	
24	有書	岡嶋家所伝安房忌部系図	大神宮570	岡嶋成鑑	1969. 2.21	1巻
25	有工	双鳥花草文八陵鏡・双鳥花草文円鏡	大神宮589	安房神社	1969. 2.21	各1面
26	有考	安房神社高坏	大神宮589	安房神社	1969. 2.21	1口
27	記天	那古山自然林	那古670-2	那古寺	1970. 2.20	11,074.4㎡
28	記天	那古寺の大蘇鉄	那古672	那古寺	1970. 2.20	1樹
29	有彫	磨唐十一面観音立像	船形835	大福寺	1970. 2.20	1?
30	有考	坂井翁作古墳出土環頭の大刀・圭頭の大刀	館山市立博物館	館山市	1970. 2.20	各1振
31	有工	船越鉦切神社罎口	浜田376	船越鉦切神社	1970. 8.26	1口
32	民有	洲崎神社神体髪	洲崎1344(1697)	洲崎神社	1970. 8.26	
33	有書	洲崎大明神縁起	洲崎1344(1697)	洲崎神社	1970. 8.26	1巻
34	民無	船越鉦切神社かつこ舞 海南刀切神社かつこ舞	浜田376 見物788	船越鉦切神社 海南刀切神社	1970. 8.26	
35	有彫	木造聖観音立像	出野尾859	小網寺	1972. 1.21	1?
36	記史	大寺山巖窟墓及び出土品等	沼1131	総持院	1972. 1.21	一活
37	記天	手力雄神社の大杉	大井1139	手力雄神社	1972. 1.21	1樹
38	民無	藤原神社獅子神楽	藤原区	藤原神社氏子	1973. 3. 3	
39	民無	古茂口獅子神楽	古茂口区	古茂口獅子神楽保存会	1973. 3. 3	
40	有建	千手院宝篋院塔	安東503	千手院	1973. 3. 3	1基
41	有彫	鶴谷八幡神社百態の龍	八幡76	鶴谷八幡神社	1974. 2.21	1式
42	記史	三義民刑場跡及び墓	国分99-3,959	国分区長	1974. 2.21	
43	記史	大神宮義民7人様の供養碑	大神宮704-1	千祥寺	1974. 7.19	1基
44	記天	滝川のびやくしん	山本2418	木幡神社	1977.10.20	1樹
45	民有	舎那院山の磨崖佛	大綱119	舎那院	1980. 3.21	1?
46	記史	やぐら	水岡413	田中義夫	1981.10.21	1基(115㎡)
47	有工	刀銘「守家」	八幡76	鶴谷八幡神社	1983.10.25	1振
48	有工	水晶製六角五輪塔形舎利塔	神余4612	自性院	1986. 7.22	1基
49	記史	孝子塚	国分1241	国分区長	1986. 7.22	555㎡
50	有彫	石造地藏菩薩坐像	安東503	千手院(安東区長)	1987. 8.25	1?
51	有絵	歌舞伎大絵馬	那古1125	那古寺	1988. 6.28	1面
52	民無	巖島神社の湯立神事	西川名1315	巖島神社氏子総代	1988.10.21	
53	民無	茂名の里芋祭	茂名238	茂名区長	1988.10.21	
54	有彫	木造阿弥陀如来坐像	神余4612	自性院	1990. 7.23	1?
55	有彫	木造地藏菩薩立像	竹原1563	相賀組	1990. 7.23	1?
56	有歴	高瀬家文書	那古1039	高瀬 昭	1992. 3.25	1冊
57	有建	応永八年在銘宝篋院塔	香311	野中 正	1994.12.24	1基
58	民無	山荻神社の筒粥神事	山荻334	山荻神社氏子総代	1994.12.24	
59	民無	鶴谷八幡神社の筒粥神事	八幡68	鶴谷八幡神社	1994.12.24	
60	民無	神余日吉神社のかっこ舞	神余931	神余日吉神社のかっこ舞保存会	1996. 6.25	
61	記天	諏訪神社自然林	正木4293-1の一部	宗教法人諏訪神社	2001. 6.28	24,558㎡

(注) 有建：有形文化財建築物、有絵：有形文化財絵画、有彫：有形文化財彫刻、有工：有形文化財工芸品、有書：有形文化財書籍典籍等、有考：有形文化財考古資料等、有歴：有形文化財歴史資料等、無：無形文化財、民有：有形民俗文化財、民無：無形民俗文化財、記史：史跡、記天：天然記念物

資料：館山市教育委員会資料

(2)近代遺跡の状況

市内の近代遺跡は、文化財としての指定・登録は行われていないが、本市が港湾都市であることや首都防衛における東京湾要塞地帯に位置していたことから、産業・軍事関係の近代遺跡が多数残されている。千葉県『千葉県の産業・交通遺跡実態調査報告書』には、交通関係遺跡12物件、軍事施設関係遺跡15物件が掲載されている。しかし、軍事施設関係遺跡については、掲載以外の物件も相当数残されていることや、掲載されている各物件についても、名称、竣工年、目的などについても未確認の事項が多くなっている。

図表 2-9 県調査で所在確認されている市内近代遺跡（平成10年現在）

区分	名称	所在地	竣工年	構造・特徴		
交通関係	道路	塩井戸橋	神余	明治44年	石造アーチ形上路橋	
		境橋	新宿	昭和14年	鉄筋コンクリート	
		潮留橋	長須賀・館山	昭和4年	鉄筋コンクリート2径間連続T桁橋	
		府中橋	正木	昭和13年	鉄筋コンクリートT桁橋	
		要橋	長須賀	昭和7年	鉄筋コンクリートT桁橋	
		巴橋	犬石	明治39年	石造アーチ形上路橋	
	鉄道	J R 東日本館山駅	北条	大正14年	木造 平成11年新駅舎に建て替え	
		J R 東日本九重駅	二子	大正10年	木造平屋	
		J R 東日本那古船形駅	船形	-	木造平屋	
	海事	洲崎灯台	洲崎	大正8年	コンクリート	
		正木灯	館山	大正5年	石造	
		船形突堤	船形	明治6年	鉄筋コンクリート造防波堤	
	その他	軍事施設	館山海軍航空隊赤山地下壕	宮城・沼	昭和19年頃	-
			館山海軍航空隊掩体壕	宮城	-	鉄筋コンクリート造
			館山海軍航空隊掩体壕	香	-	鉄筋コンクリート
洲ノ埼海軍航空隊堰			笠名	-	コンクリート	
洲ノ埼海軍航空隊御神影奉安所跡			笠名	-	-	
洲ノ埼海軍航空隊射撃場			笠名	昭和18年頃	-	
洲ノ埼海軍航空隊防火用水跡			笠名	昭和18年頃	コンクリート造	
洲崎第一砲台			加賀名	昭和7年	-	
戦闘指揮所、作戦室			大賀	昭和19年	-	
水上特攻艇「震洋」出撃地			波左間	昭和20年	-	
館山海軍砲術学校跡			佐野	昭和16年	-	
館山海軍砲術学校パラシュート降下訓練用プール			佐野	-	コンクリート造	
館山海軍砲術学校ボイラー室			佐野	-	レンガ造	
館山海軍砲術学校化学兵器実験施設跡			藤原	-	コンクリート造	
東京湾要塞第一区地帯標			新宿	昭和16年	-	

資料：千葉県「千葉県産業・交通遺跡実態調査」(平成10年12月)を基に作成